

わたらい克明の 県政ジャーナル



2001年 秋号 (第10号)

発行人 わたらい克明事務所
豊橋市多米東町二丁目20番地の12



ごあいさつ

秋冷の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、現在私たちを取り巻く社会状況は、国内外ともに大変厳しいものがあります。同時多発テロ、炭そ菌、狂牛病、経済不況、倒産、リストラ、失業等々…枚挙に暇がありません。ますます暗く、悲しい気持ちになってまいります。

しかし、このような時こそ、明るい、希望の21世紀を迎える前兆であると捉え、目下の課題に全力で取り組み、ひとつずつではあります前向きに実現していきたいと決意しております。

今後ともどうか皆様方の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成13年11月

愛知県議会議員 **渡会 克明**

非常に興味深い意識調査がありましたので紹介します。

学校の先生なぜドライ?

「すべての子抱えるのは無理」

学級崩壊、応援もなく

問題のある児童は教室から出て行ってもらうことも検討すべき
とてもそう思う
6・7%
ややそう思う
30・1%
あまりそう思わない
45・8%
全くそう思わない
14・9%

6年の学級が崩壊した。暴れん坊が集まった。授業中、激しい私語にあって、ほかの教員の応援もない。「どんな子も話せばわかる」と信じてきた自分がいかに甘かった。

「裸の王様ですよ、担任は」。北海道の男性教師(43)は言う。「でも、王様には何の力もない。それを子どもが見抜いた」かつて、担任した

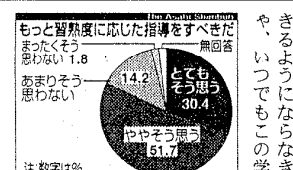
「すべての子抱えるのは無理」と注意しただけで、1人の男子が机をひっくり返す。続いて2、3人が戸をけり、いすを倒す。「先生があの子らばかり構う」とほかの子もそっぽをむき、授業中、激しい私語にあって、ほかの教員の応援もない。「どんな子も話せばわかる」と信じてきた自分がいかに甘かった。

「できない子見る余裕ない」 学校選択制で競争過熱

多少できない子がいても全体の進度優
先
とても
2・5%
やや
46・9%
あまり
39・2%
全く
5・4%

保護者懇談会で、ある母親がいった。「うちの子が勉強できなくなるのなら、いつでもこの学校を選ばないか」

「仕方ないからよ。競争、競争だ」。東京都品川区の女性教師(50)はそう皮肉る。品川区は、行きたい学校を選べる「学校選択制」を導入している。



全国教員・校長700人調査

公立小学校1154校の教員と校長に3月、国立教育政策研究所と福岡教育大学の研究者グループがアンケートした。604校の校長534人、教員6614人が回答。学級崩壊の有無のほか、学級をめぐる校内・校外の状況、教員同士の関係、母親、学校観、子ども観などが浮かび上がった。(クラブや表の%はいずれも教員の回答率)

「家庭問題まで面倒みきれぬ」 虐待の調査、親が拒絶

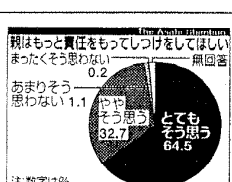
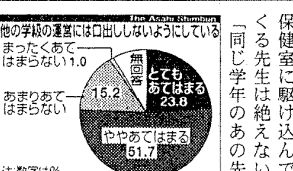
学校は生活全般まで見る必要なし
とても
17・8%
やや
51・2%
あまり
25・7%
全く
3・2%

愛知県のある小学校の校長(59)は、つくづく思っている。「教師は知識の伝達者であって、だれからも『師』と仰がれるような聖職じゃない。虐待を受けている疑いのある児童が見なければならぬ。」「いい、悪いではなく、教師にはできない子を見るような余裕はないんです」

「事務処理能力ない人辞めて」 「忙しすぎる」募る不満

向かない教員は早く転職を
とても
19・6%
やや
44・4%
あまり
28・9%
全く
4・2%

30年の女性は、教師たちの貴重な相談役だ。「忙しすぎる。先生たちにとっては、仕事が増えることが一番不満みたい」と、養護教諭は話す。気がなるのは、「手間がかかる」と言っている先生は、子どもも親も切り捨てた先生が増えてきたことだ。「人間関係が、うまくとれないみたい。先生に向いている人って、どんな人を指すのでしょうか」



【県議会報告】

9月定例議会における文教委員会での私の質問要旨

10月3日、県議会の文教委員会が開催され、以下の3点について質問をいたしました。

1. 県立高校の学区制度の改善について

今回法改正により、それぞれの学校の設置者が地域の実情にふさわしい通学区を定めることができるようになったため、見直しを求めた。

尾張、三河の歴史は今も続き、産業、行政等もそのくくりを設けている。しかし、教育においては、普通科に二つの学区（尾張・三河）を設けること自体が不自然ではないか、二つの学区間に学校数・生徒数等における格差や不公平感が生じ、様々な課題も解消されないままであることから、学区制度が生徒の自由な学校選択の妨げとなっていないか。

子供には大きな枠の中から、自由に学校を選択させたい。親も一緒になって考えたい。時代の流れはここにあると思うのだが、また、関連する入学選抜制度の問題は後日触れたいと思う。

2. 学校安全管理対策について

6月の委員会で質問したが、大切な内容なので、引き続き現在の対応と、今後の13年度補正、14年度予算における考え方を聞いた。

3. 学校補助教員の採用について

新たな緊急地域雇用特別交付金で、学校への補助教員を採用することが、緊急かつ臨時的な雇用創出を推進することになり、あわせて優秀な人材の確保や育成にもならないか。

▼中日新聞 13.10.4刊

教員の指導力に判定基準

不合格者には自主退職も

県議会は三日、総務県民、建設、文教、警察の各常任委員会を開き、付託議案の審査などを続行した。指導力不足の教員の問題で県教委は、来年度中に指導力の判定基準や、指導力不足の教員について各校長から報告してもらう制度を設けるとを明らかにした。



◇指導力不足教員対策

国が本年度から三年間の期限付きで都道府県や政令指定都市の教育委員会に指示した、指導力不足教員対策への取り組みについて、文教委で質問が相次いだ。県側は、既に有識者による検討会議をつくり、指導力不足かどうかを客観的に判定できる基準策定を進めていることを説明。二〇〇二年度から県内小中高の校長に、該当する教員があれば報告して

もらう方針とした。指導力不足と判定された教員の研修は〇三年度から始め、一年後をめぐりに有識者で組織する判定委員会(仮称)で復職させるかどうかを判断。不適格と判定された場合には、自主退職や転職を求める見直し。国の法改正に伴い、小中学校教諭を県の一般職員として受け入れることが来年一月から可能となるため、県教委側は「県教委規則を改正し、教員より行政職の方が向いていると判断された場合に県庁で受け入れる態勢も整える」とも述べた。

また、採用されている尾張、三河の二学区を、一つに統合するよう求める意見が、文教委で委員の一人から出された。全国の都道府県で学区統合が進んでおり、愛知でも専門学科についてはは全県一区となっていることから、「すべての生徒が受けるべき権利を保障するべきだ」と述べた。

渥美栄朗教育長は「当面は今までの歴史を踏まえ、二学区を維持する」と答弁。総合学科や選択コース制を両学区にバランス良く設置するといった手法で、受験機会の均等を図っていく方針を示した。

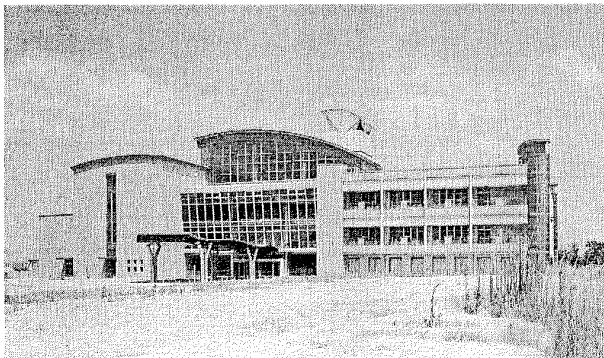
来年度中に策定

《知ってますか?》

あいち小児保健医療総合センター

(平成13年11月1日一部オープン)

あいち小児保健医療総合センターは、保健部門と医療部門を併せ持つ新しいタイプの小児専門の保健医療施設です。両部門が有機的に連携することにより、心身の健康や発達に問題を抱える一人ひとりの子どもに対して、総合的に問題解決を図り、また疾病予防から、医療、リハビリまで一貫した包括的ケアを目指します。全面オープンは、平成15年度の早い時期に予定しています。



【ADDRESS】

〒474-0031 愛知県大府市森岡町尾坂田1番の2
TEL 0562-43-0500(代表) FAX 0562-43-0513
URL <http://www.ahv.pref.aichi.jp/shisetsuannai/syouni/index.html>

【INFORMATION】

当センターの受診は『紹介予約制』です。お電話等にてご予約下さい。
予約電話番号 **0562-43-0509**

【ACCESS】公共交通機関利用

JR大府駅西口から知多バスで約10分「中部病院」にて下車
JR名古屋駅よりJR大府駅まで約12~20分
JR岡崎駅よりJR大府駅まで約15~20分



暮らしの相談110番

自宅

〒440-0028
豊橋市多米町東町2丁目20番地の12
電話 (0532) 62-9633
FAX (0532) 64-4368
E-mail : wata99@plum.ocn.ne.jp

県庁

〒460-0001
名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
電話 (052) 961-2111
FAX (052) 961-2013

県政へのご要望、ご意見など何でもご相談ください。
また、法律・税務相談等もお気軽に。